

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2024年7月～9月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2025年1月

宮城県商工会連合会



# 中小企業景況調査報告書

2024年7月～9月期

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業

### 2. 調査対象期間

2024年7月～9月期を対象として、調査時点は2024年9月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	32
建 設 業	24
小 売 業	43
サービス業	50
合 計	149

### 5. そ の 他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期（2024年7月～9月期）の調査において、産業全体（全産業）の業況D I（前年同期との比較D I、以下同じ）は、前期より1.6ポイント改善し△27.7（前期△29.3）となった。産業別では、製造業が△25.0（前期△43.8）で18.8ポイントの改善、建設業は△20.9（前期△12.5）で△8.4ポイントの悪化、小売業は△54.8（前期△36.5）で△18.3ポイントの悪化、サービス業では△10.0（前期△22.0）と12.0ポイントの改善となった。

来期見通しでは、製造業、小売業で改善する一方、建設業、サービス業では悪化する見通しとなっている。

表-1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 29.3	△ 27.7	△ 30.4
製造業	△ 43.8	△ 25.0	△ 18.7
建設業	△ 12.5	△ 20.9	△ 41.7
小売業	△ 36.5	△ 54.8	△ 42.9
サービス業	△ 22.0	△ 10.0	△ 22.0

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が15.6%で前期比6.2ポイント増加、建設業は0.0%で前期比△8.3ポイント減少、小売業では11.6%で前期比横ばい、サービス業でも14.0%と前年比横ばいとなった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べて製造業、小売業、サービス業で減少、建設業で増加する見通しとなっている。

表-2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	9.4	15.6	12.5
建設業	8.3	0.0	8.3
小売業	11.6	11.6	4.7
サービス業	14.0	14.0	8.0

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2024年9月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期（2024年6月調査）と比較し、製造業がマイナス1で前期比横ばい、非製造業はプラス11で前期比1ポイント低下。自動車生産や半導体需要の持ち直し、インバウンド需要の回復が下支えとなり景況感は小幅改善とする一方、円高進行などによる輸出企業の収益悪化への懸念、人手不足の深刻化や人件費の増加、金利上昇への警戒感などが企業マインドの抑制に作用する見込み」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、前期との比較では製造業、建設業、小売業で悪化、サービス業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業、小売業、サービス業で全国・東北以下、建設業で全国以下、東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 11.4	△ 13.9	△ 20.6	△ 21.8	△ 34.4	△ 37.5
建 設 業	△ 9.3	△ 15.2	△ 15.7	△ 29.3	△ 8.3	△ 29.2
小 売 業	△ 20.1	△ 21.5	△ 31.2	△ 37.9	△ 32.5	△ 39.5
サービス業	△ 0.9	△ 1.0	△ 8.4	△ 1.2	△ 18.0	△ 6.0

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、前期との比較で製造業、建設業、サービス業で改善、小売業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業、小売業、サービス業で全国・東北以下、建設業で全国以下、東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 23.4	△ 25.0	△ 31.7	△ 26.9	△ 50.0	△ 34.4
建 設 業	△ 23.9	△ 23.7	△ 40.4	△ 40.0	△ 37.5	△ 33.3
小 売 業	△ 32.1	△ 30.3	△ 43.2	△ 40.5	△ 37.2	△ 53.4
サービス業	△ 24.1	△ 22.1	△ 30.6	△ 25.0	△ 35.4	△ 30.6

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2024年10月～12月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業が18.8ポイント、小売業で9.3ポイントの改善、建設業は△25.0ポイントの悪化、サービス業では横ばいの見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で9.4ポイント、小売業で2.2ポイントの改善、建設業では△8.4ポイント、サービス業でも△8.2ポイントの悪化見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上が全国・宮城で改善、採算でも全国・宮城で改善の見通し。建設業では売上が全国・宮城で悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通し。小売業では売上が全国で悪化、宮城で改善、採算では全国・宮城で改善の見通し。サービス業では売上が全国で悪化、宮城は横ばい、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 13.9	△ 10.7	△ 37.5	△ 18.7
建 設 業	△ 15.2	△ 17.1	△ 29.2	△ 54.2
小 売 業	△ 21.5	△ 21.6	△ 39.5	△ 30.2
サービス業	△ 1.0	△ 4.6	△ 6.0	△ 6.0

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 25.0	△ 20.4	△ 34.4	△ 25.0
建 設 業	△ 23.7	△ 21.9	△ 33.3	△ 41.7
小 売 業	△ 30.3	△ 29.7	△ 53.4	△ 51.2
サービス業	△ 22.1	△ 20.3	△ 30.6	△ 38.8

## 2. 県下産業別の景況

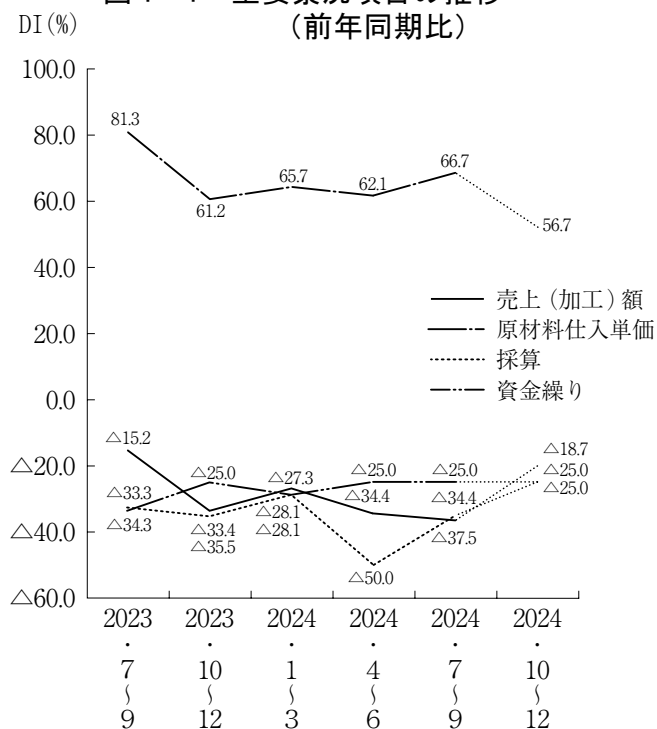
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△37.5（前期△34.4）となり前期比△3.1ポイント悪化、採算D Iでは今期△34.4（前期△50.0）で15.6ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△25.0（前期25.0）で横ばいとなった。

原材料仕入単価は今期66.7（前期62.1）と4.6ポイントの増加となった。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



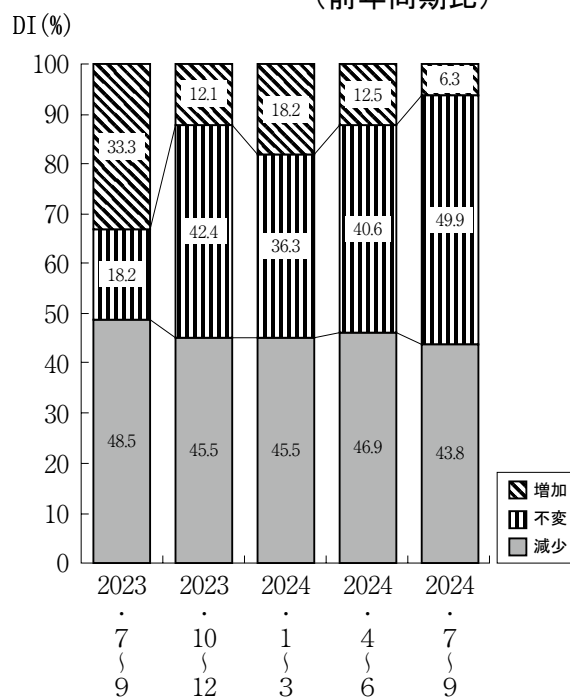
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上（加工）額

「増加」と回答した企業は、全体の6.3%（前期12.5%）で△6.2ポイントの減少、「減少」と回答した企業は43.8%（前期46.9%）で△3.1ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは△37.5（前期△34.4）となり、前期比△3.1ポイントの悪化となった。

図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)

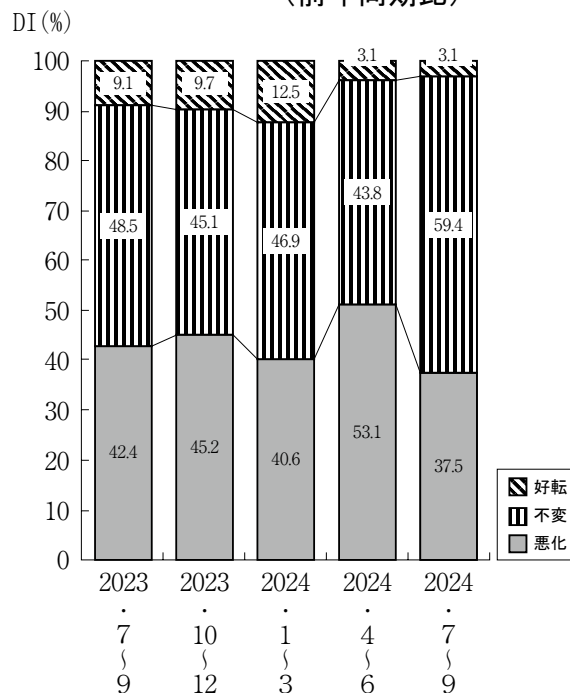


(b) 採算

「好転」と回答した企業は全体の3.1% (前期3.1%)で横ばい、「悪化」と回答した企業は37.5% (前期53.1%)で△15.6ポイント減少した。

その結果、採算DIは△34.4 (前期△50.0)で15.6ポイントの改善となった。

図1-3 採算の状況 (前年同期比)



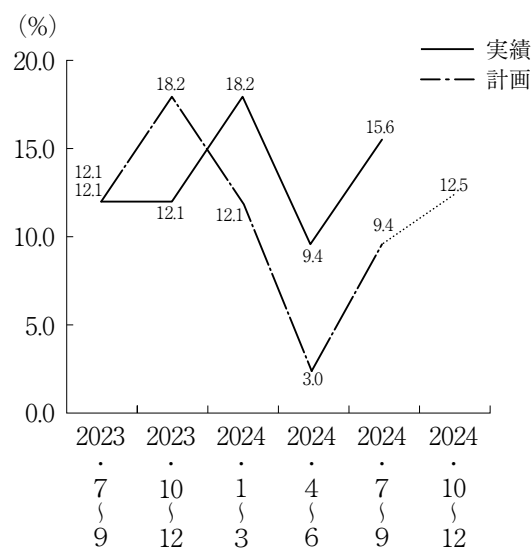
(c) 設備投資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の15.6% (前期9.4%)で前期と比べ6.2ポイント増加した。

その設備内容は、工場建物、生産設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の12.5%で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

図1-4 設備投資の状況



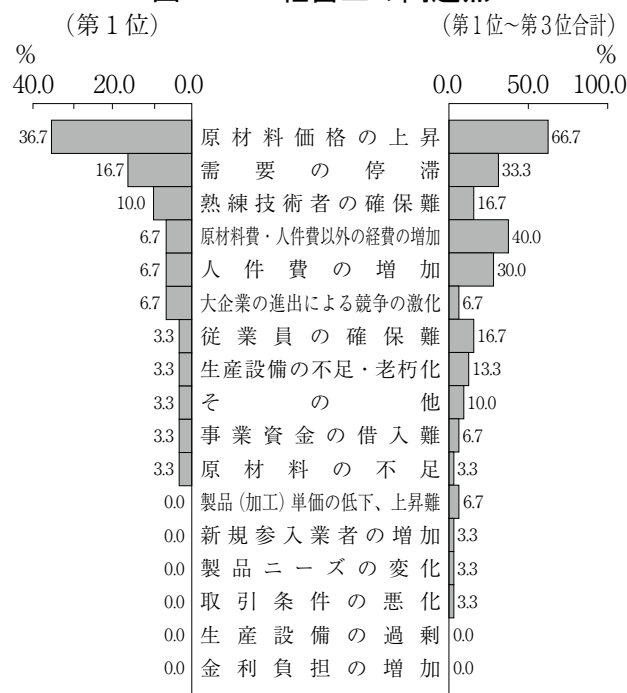


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「原材料価格の上昇」で36.7%、次いで「需要の停滞」が16.7%、「熟練技術者の確保難」が10.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「原材料価格の上昇」が66.7%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「原材料費・人件費以外の経費の増加」が40.0%、「需要の停滞」が33.3%、「人件費の増加」が30.0%、「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」が同率16.7%、「生産設備の不足・老朽化」が13.3%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



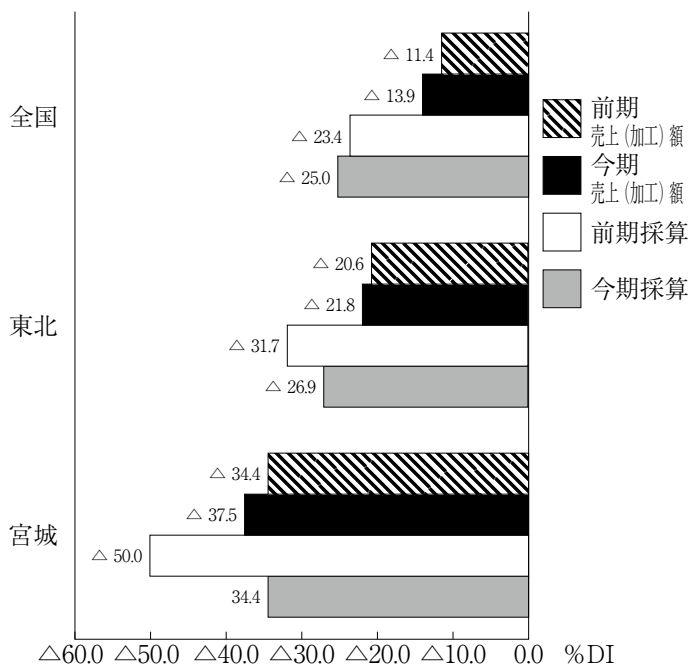
① 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で、売上(加工)額DIは全地域(製造業)で悪化となった。その悪化度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでは全国で悪化、東北、宮城で改善となった。

本県回答事業者からは「今後の消費拡大に期待」(酒類製造)とする一方、「長期的には下降線を辿る見通し」(印刷業)とし、「業種に関わらず仕事量が少ない」(金属加工)、「仕事も予想できず波がある」(補綴物加工)、「人件費や他の経費が増えて収益確保が困難」(水産加工)などのコメントが寄せられた。

図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)



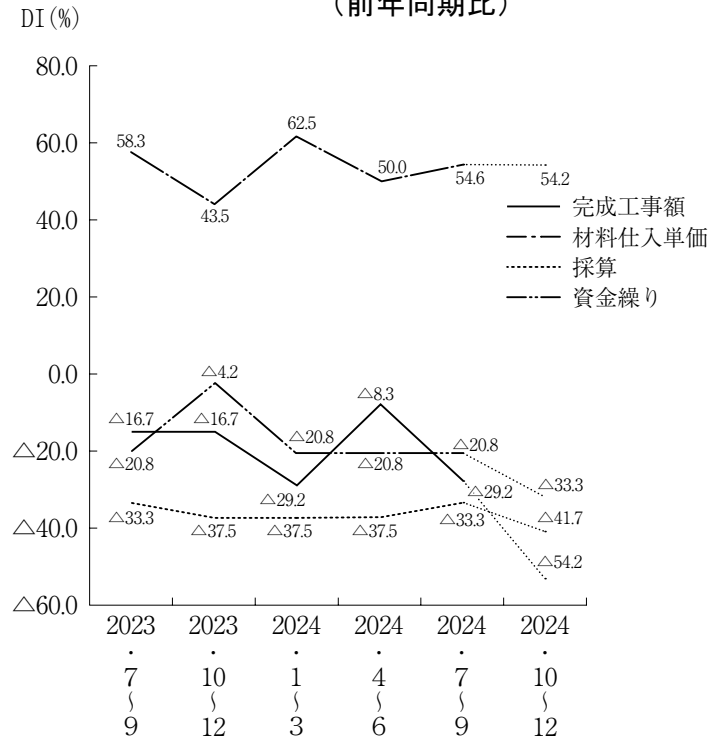
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△29.2（前期△8.3）となり前期比△20.9ポイント悪化、採算D Iでは今期△33.3（前期△37.5）で4.2ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△20.8（前期△20.8）で横ばいとなった。

材料仕入単価D Iは今期 54.6（前期 50.0）と 4.6ポイントの増加となった。

図 2-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



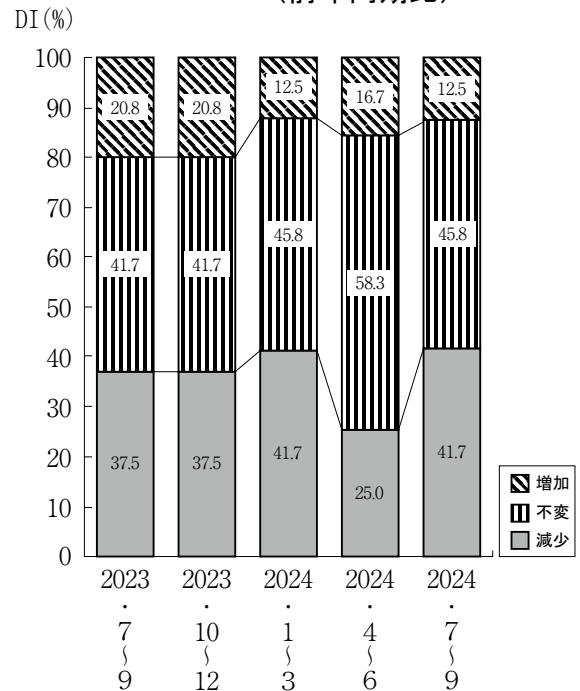
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 12.5%（前期 16.7%）で△4.2ポイント減少、「減少」と回答した企業は 41.7%（前期 25.0%）で 16.7ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△29.2（前期△8.3）となり、前期比△20.9ポイントの悪化となった。

図 2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

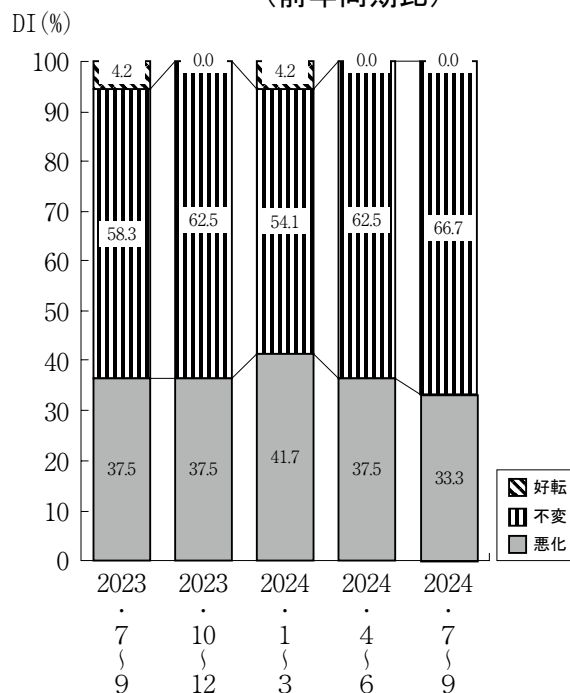


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 0.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 33.3% (前期 37.5%) で△4.2 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△33.3 (前期△37.5) となり 4.2 ポイントの改善となった。

図 2-3 採算の状況 (前年同期比)

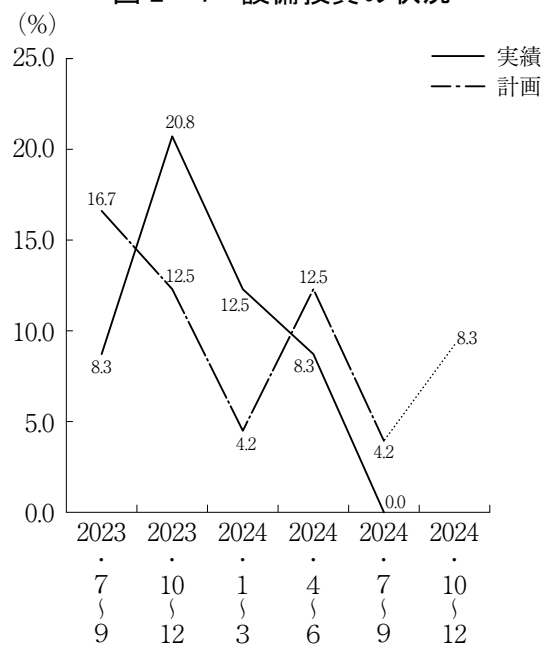


(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 0.0% (前期 8.3%) で前期と比べ△8.3 ポイント減少した。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 8.3%で、その設備内容は、建物、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 2-4 設備投資の状況



(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」「従業員の確保難」が同率 21.7%、次いで「請負単価の低下、上昇難」が 17.4%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「材料価格の上昇」が 43.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「請負単価の低下、上昇難」「民間需要の停滞」が同率 34.8%、「従業員の確保難」が 30.4%、「熟練技術者の確保難」が 26.1%、「材料費・人件費以外の経費の増加」が 21.7%、「人件費の増加」「下請単価の上昇」が同率 17.4%、「官公需要の停滞」が 13.0%で続いた。

図 2-5 経営上の問題点

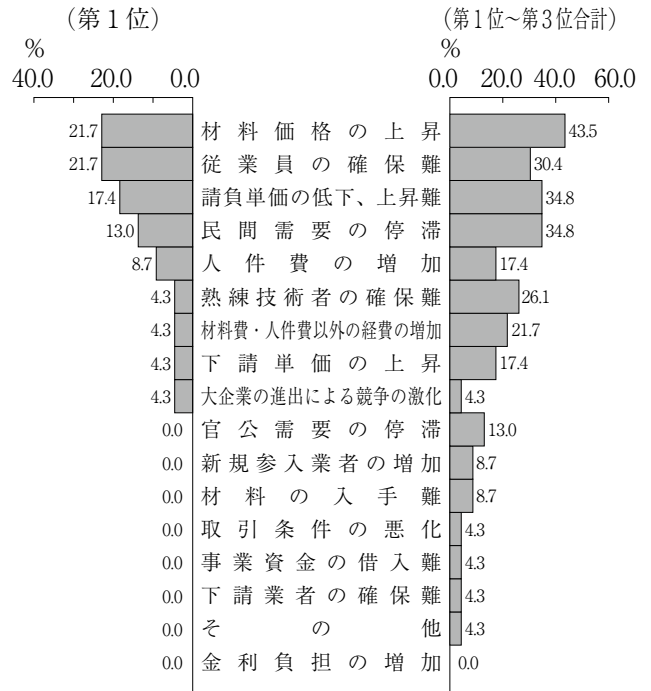


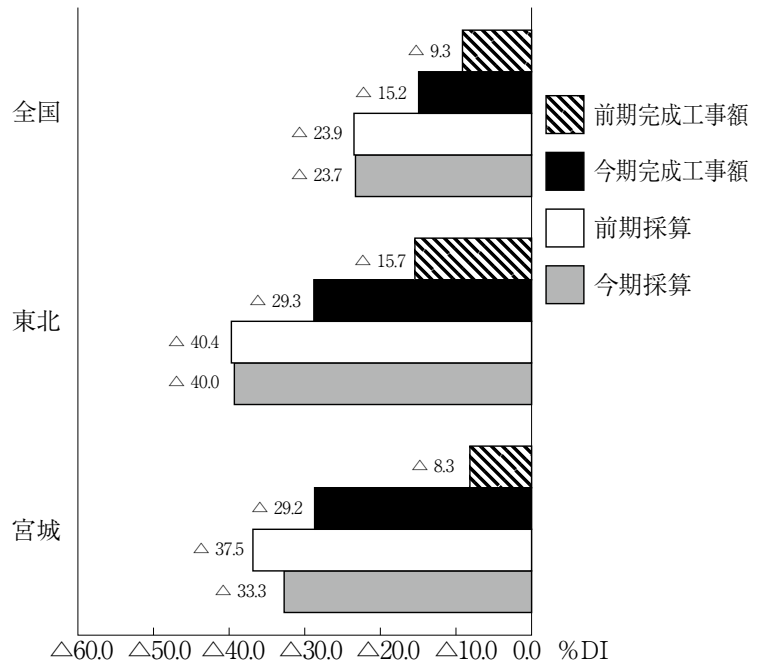
図 2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）

① 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全産業）で悪化となった。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでは全地域（建設業）で改善。その改善度は、宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「来期の受注見通しが立たない」（建設工事）とし、「年々請求条件が悪くなっている」（建設工事）、「従業員の高齢化に伴う現場の機動力低下」「人材確保が困難」（電気工事）や、「材料価格上昇分を売上に転嫁できない」（石工業）などのコメントが寄せられた。



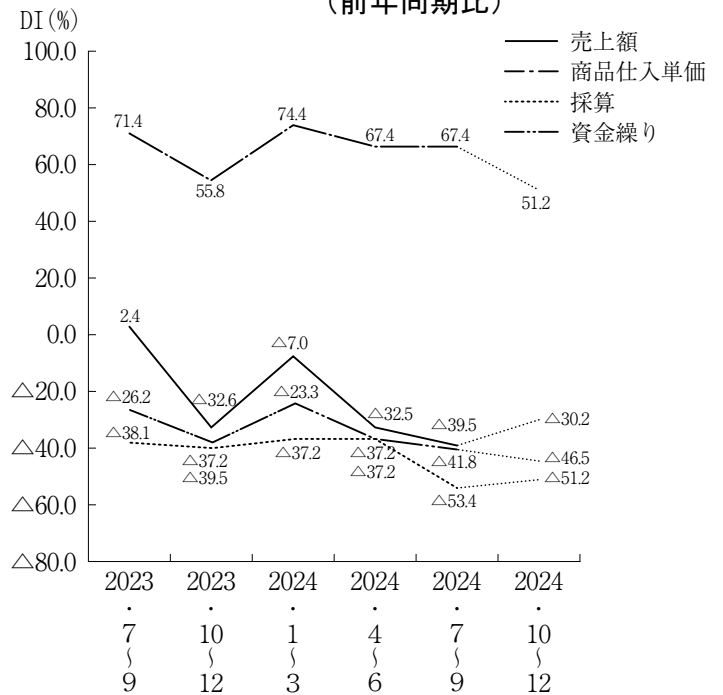
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらし

売上額DIは今期△39.5(前期△32.5)となり前期比△7.0ポイント悪化、採算DIでは今期△53.4(前期△37.2)で△16.2ポイント悪化、資金繰りDIでは今期△41.8(前期△37.2)で△4.6ポイント悪化した。

商品仕入単価DIは今期67.4(前期67.4)で横ばいとなった。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



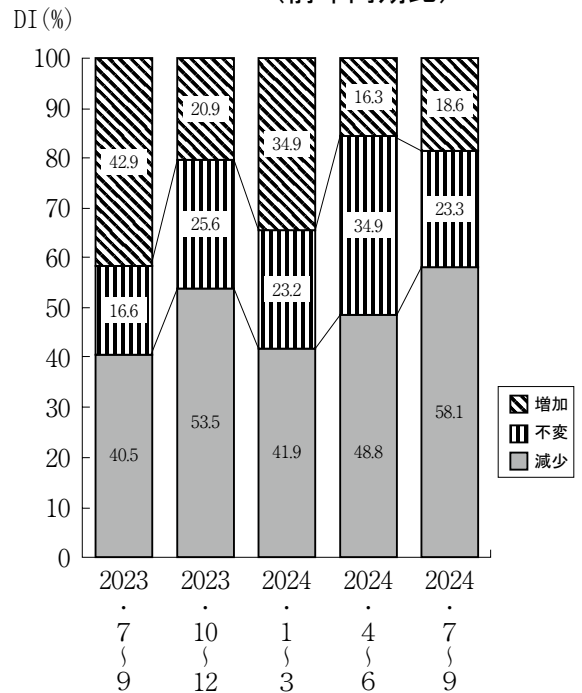
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の18.6%(前期16.3%)で2.3ポイント増加、「減少」の回答は、今期は全体の58.1%(前期48.8%)で9.3ポイント増加した。

その結果、売上額DIは今期△39.5(前期△32.5)と前期より△7.0ポイントの悪化となった。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

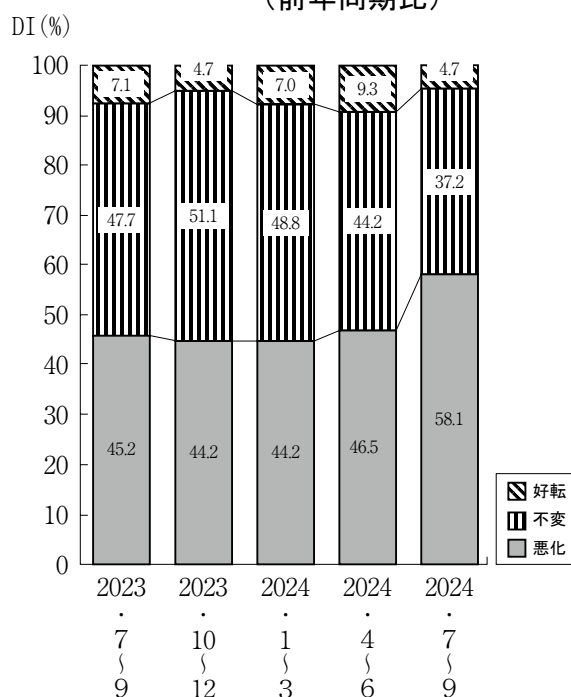


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.7%（前期9.3%）で△4.6ポイント減少、「悪化」の回答は、今期は全体の58.1%（前期46.5%）で11.6ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△53.4（前期△37.2）となり△16.2ポイントの悪化となった。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



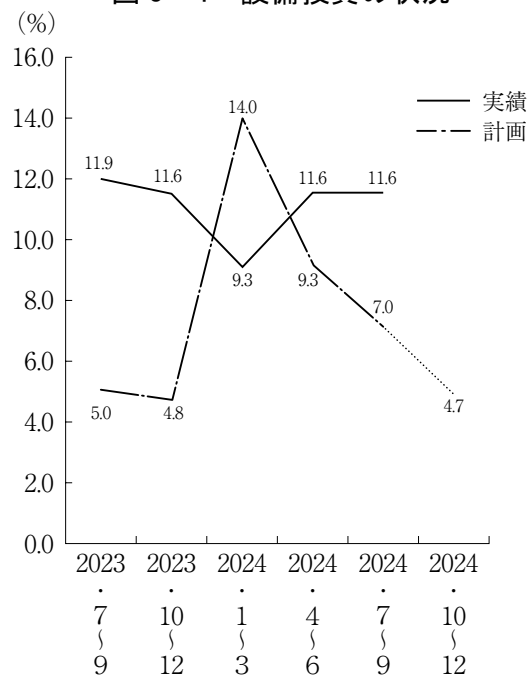
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の11.6%（前期11.6%）で前期比横ばいとなった。

その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の4.7%で、その設備内容は、土地、店舗、販売設備、付帯施設、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況



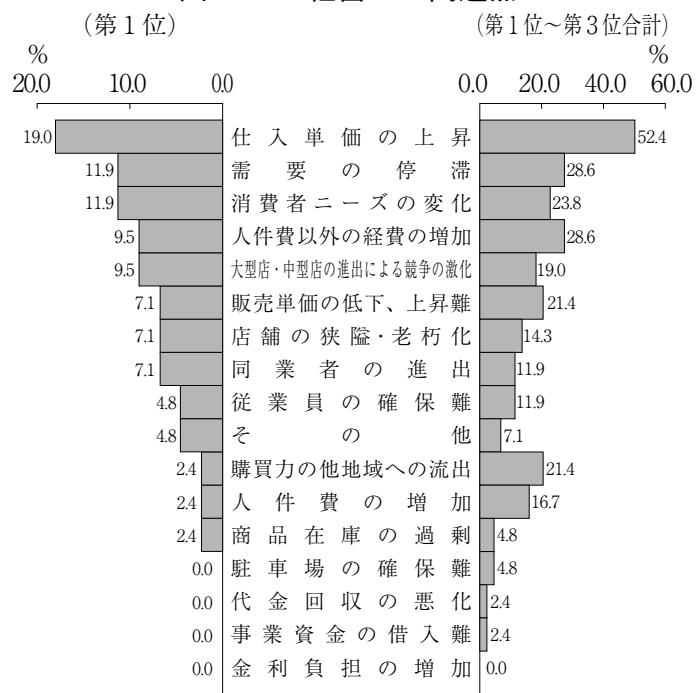
(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「仕入単価の上昇」が19.0%、次いで「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」が同率11.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「仕入単価の上昇」が52.4%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」

「人件費以外の経費の増加」が同率28.6%、「消費者ニーズの変化」が23.8%、「販売単価の低下、上昇難」「購買力の他地域への流出」が同率21.4%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が19.0%、「人件費の増加」が16.7%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



① 全国・東北ブロックと本県の景況比較

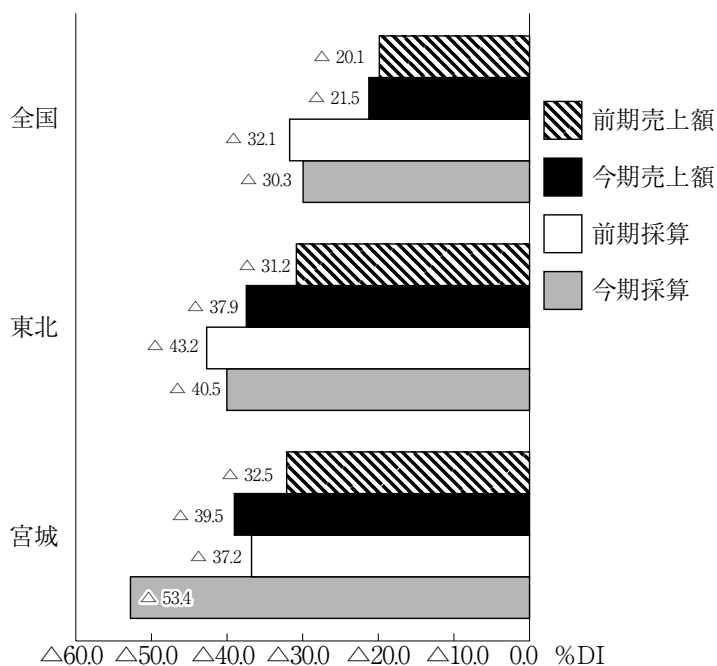
今期と前期との比較で売上DIは、全地域（小売業）で悪化となった。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較では全国、東北で改善、宮城で悪化となった。

本県回答事業所から「県外観光客の増加に伴いご当地雑貨の売上が伸びている」

（雑貨類）とする一方で、「円高による物価上昇、購買意欲の低下を懸念」（身の回り品）、「水道光熱費や消耗品費の高騰」（食料品）、「仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁しづらく利益確保に苦慮」（菓子類）、「他地域への流出に歯止めが止まらない」（飲食料品）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



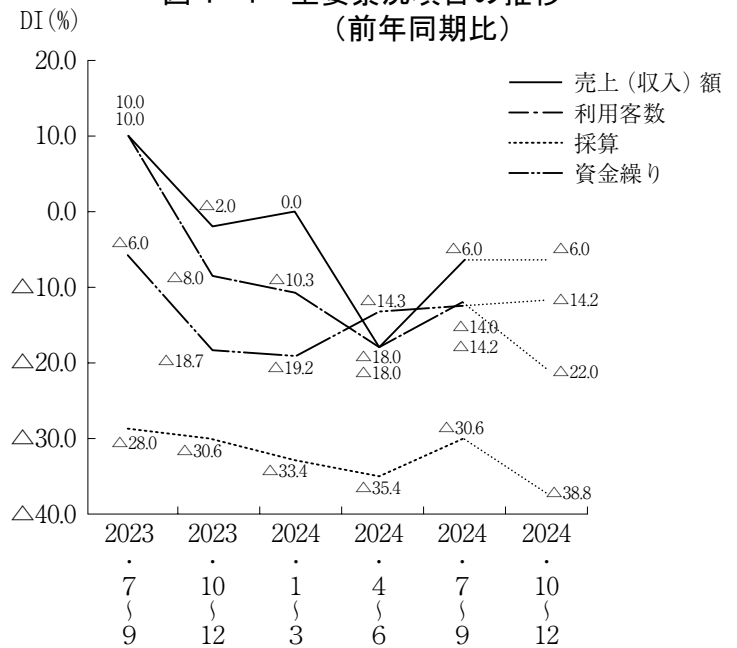
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額DIは今期△6.0（前期△18.0）となり前期比12.0ポイント改善、採算DIは今期△30.6（前期△35.4）で4.8ポイント改善、資金繰りDIでは、今期△14.2（前期△14.3）で0.1ポイント改善した。

利用客数DIは、今期△14.0（前期△18.0）で4.0ポイント上昇した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



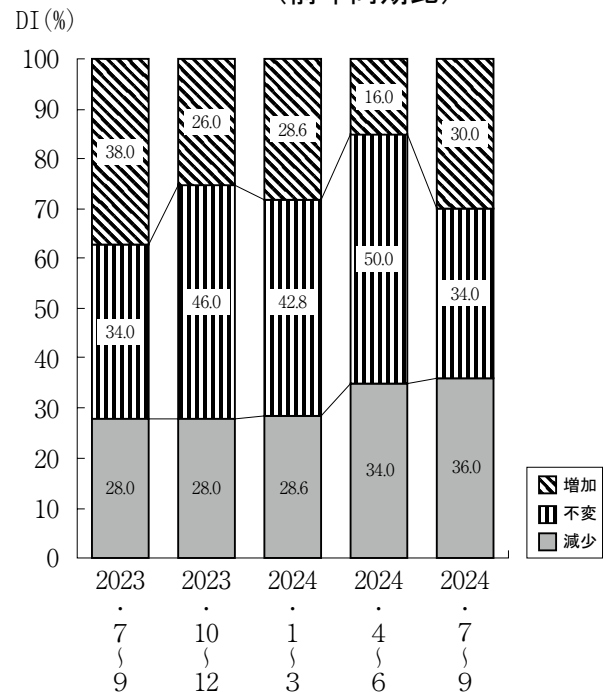
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の30.0%（前期16.0%）で前期より14.0ポイント増加、「減少」の回答は今期36.0%（前期34.0%）で2.0ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額DIは今期△6.0（前期△18.0）で、前期より12.0ポイントの改善となった。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)



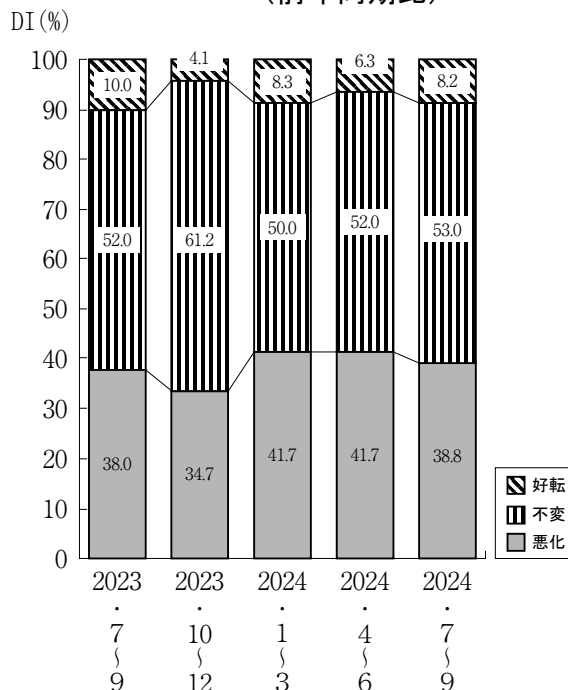


**(b) 採算**

「好転」と回答した企業は、今期は全体の8.2%（前期6.3%）で1.9ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期38.8%（前期41.7%）で△2.9ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△30.6（前期△35.4）で前期より4.8ポイントの改善となった。

**図4-3 採算の状況  
（前年同期比）**



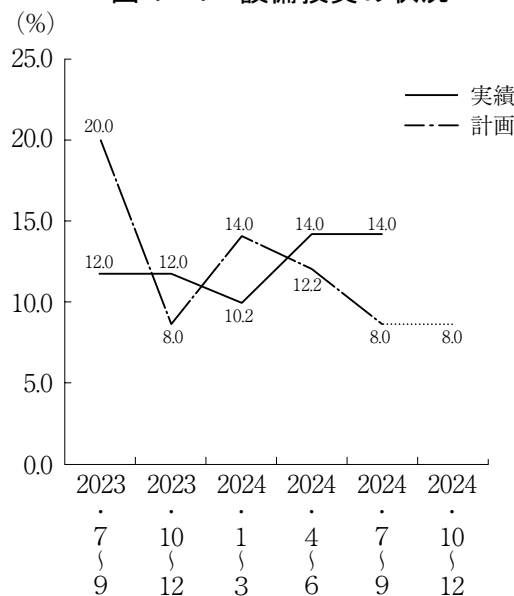
**(c) 設備投資**

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の14.0%（前期14.0%）で、横ばいであった。

その設備内容は、土地、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業割合は全体の8.0%で、その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設となっている。

**図4-4 設備投資の状況**

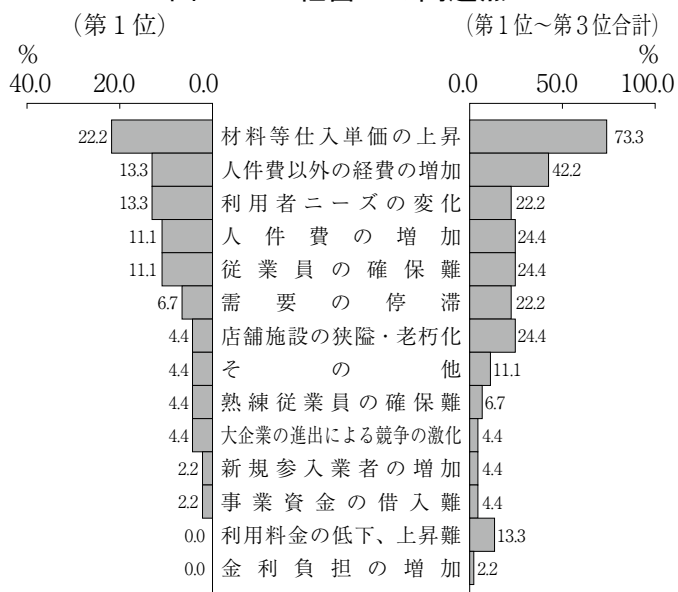


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「材料等仕入単価の上昇」が22.2%で、次いで「人件費以外の経費の増加」「利用者ニーズの変化」が同率13.3%であった。

重要度第1位から第3位合計では「材料等仕入単価の上昇」が73.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費以外の経費の増加」が42.2%、「人件費の増加」「従業員の確保難」「店舗施設の狭隘・老朽化」が同率24.4%、「利用者ニーズの変化」「需要の停滞」が同率22.2%、「利用料金の低下、上昇難」が13.3%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



① 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で売上DIは、全国で悪化、東北、宮城で改善となった。

採算DI比較では全地域（サービス業）で改善。その改善度は東北、宮城、全国の順であった。

本県回答事業所からは、「昨年に比べ宴会予約が増加傾向」（飲食業）、「6月から宿泊需要が回復基調」（宿泊業）とする一方、「材料費、水道光熱費の高騰」（飲食業）、「物価高に伴い仕入単価が上昇し資金繰りを圧迫」（飲食業）、「最低賃金の対応、賃金アップへの不安」（美容業）、「宿泊税導入による観光入込客数への影響が心配」（宿泊業）、などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上（収入）額・採算比較（前年同期比）

